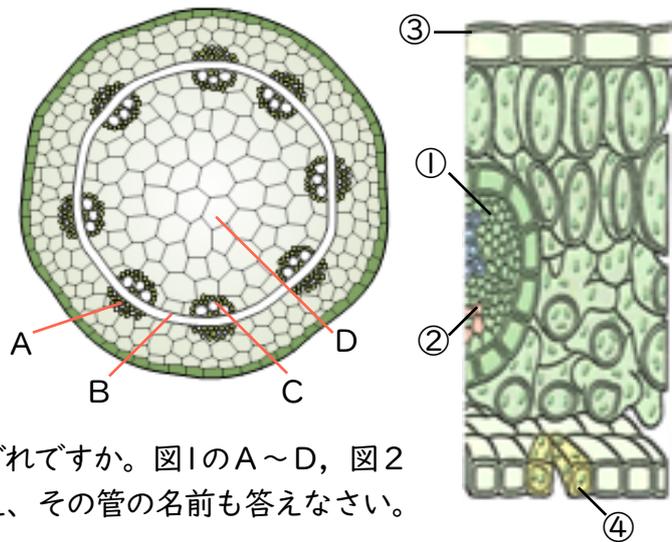


図1はある植物の茎の断面を、図2は同じ植物の葉の断面を表しています。
これについて、次の問いに答えなさい。



- (1) 根から吸収した水や肥料が通る管はどれですか。図1のA～D、図2の①、②からそれぞれ選び記号で答え、その管の名前も答えなさい。
- (2) 葉で作られた養分が、水に溶ける物質に変わってから通る管はどれですか。図1のA～Dと図2の①、②からそれぞれ選び記号で答え、その管の名前も答えなさい。
- (3) (1) と (2) が集まった部分を何というか答えなさい。
- (4) さかんに細胞分裂をおこない、茎が太くなる部分を図1のA～Dから選び記号で答え、その部分の名前も答えなさい。
- (5) 茎の断面が図1のようにになっている植物の根と葉のつくりの組み合わせについて、正しく説明しているものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

	ア	イ	ウ	エ
根のつくり	主根と側根	主根と側根	ひげ根	ひげ根
葉のつくり	平行脈	網状脈	平行脈	網状脈

- (6) 図2の③、④の部分をそれぞれ何というか答えなさい。

(1) 図1	(1) 図2	(1) 名前
(2) 図1	(2) 図2	(2) 名前
(3)	(4) 記号	(4) 名前
(5)	(6) ③	(6) ④

- (1) 水を通す管は道管で、茎の中では内側のCに、葉では表側の①にあります。「うちの水道管」と覚えておきましょう。
- (2) 養分を通す管は師管で、茎の中では外側のAに、葉では裏側の②にあります。
- (3) AとCを合わせ、茎の中で束ねられた部分を維管束といいます。
- (4) 茎を太くするのは形成層で、師管と道管の間のBにあります。形成層があるのは双子葉類だけで、単子葉類にはありません。
- (5) 茎の中で維管束が整列し、形成層を持つので双子葉類です。双子葉類では根は主根と側根に分かれ、葉には網状脈が現れます。
- (6) ③は表皮、④は気孔を形作る孔辺細胞です。表皮には葉緑体がなく、孔辺細胞は葉の裏側に多くありますが、葉緑体を含んでいます。

(1) 図1 C	(1) 図2 ①	(1) 名前 道管
(2) 図1 A	(2) 図2 ②	(2) 名前 師管
(3) 維管束	(4) 記号 B	(4) 名前 形成層
(5) イ	(6) ③ 表皮	(6) ④ 孔辺細胞